

永仁会だより

発行人 永仁会
発刊 永仁会
2003年1月
第2号

永仁会病院理念の実現に向けて



院長 宮下英士
永仁会は昭和五十八年一月の設立以来二十年来

経過し今日に至っています。

この間、平成十一年一月の病院新築・移転を機に永野病院から永仁会病院へ病院名を変更、永仁会クリニックを開設しました。永仁会病院では消化器疾患と腎疾患を扱う急性期病院として、永仁会クリニックでは糖尿病の診療を行い「速く・無駄なく・快適に 心をこめて」を理念に地域医療の一翼を担っております。

国民皆保険制度は国民の財産

かかった医療費の一部を支払うだけで安心して必要な治療を受けられる国民皆保険制度が完備され、日本国民は男性七七・六歳、女性八四・六歳の世界一の長寿を享受しています。医療法人永仁会は常に「速く、無駄なく、快適に、心をこめて」患者様を診療し医療の質と安全性の向上を期すと共に、国民皆保険制度の存続のために効率的な医療活動を展開して参ります。

永仁会理念「速く」の実践

速やかな診断と治療は患者様の痛みや苦しみに迅速に対応するため不可欠です。そのためには患者様の責任として健康に関する情報を提供して頂く必要があります。

それ以上に大切な事は医療者としての専門性の向上です。絶えず自己研鑽に励み最新の技術と知識を駆使して診療にあたると共に、総合力を発揮する事が求められています。

全職種のスタッフが参加し毎週開催しているNSTミーティングはチーム医療の実践として大きな成果を収めており、その取組みを一層充実・強化して参ります。

永仁会理念「無駄なく」の実践

医療保険制度は国民が応分の負担をしながら支えている制度です。一生懸命働いて得た給料や所得の中から支払って頂いている保険料を無駄なく活用しなければなりません。

政府管掌健康保険、国民健康保険や健康保険組合の何れも厳しい財政状況にあります。患者様と医療者が情報を共有しながら理解と納得を得て効率的に治療することが大切です。

平均在院日数一〇日以内を目標に総合力を発揮して適切な治療と看護活動を展開して参ります。

永仁会理念「快適に」の実践

病気の治療を受けることは命の世話を他人に委ねる事になり患者様にとって最大の試練と言えます。様々な不安や心配事が心に浮かぶのは当然です。治療計画を納得いただけるまでご説明し、治療方法などを自らの意思で選択いただきます。

患者様の価値観や要望事項が尊重されることはもちろん、個人のプライバシーは的確に保護されます。入院し「非日常」の時間を過ごされる患者様には個室でご家族や友人と心おきなくつろぎながら治療に専念し、快適に過ごしていただく様に努めて参ります。

永仁会理念「心をこめて」の実践

永仁会理念の中で最も大切なことは「心をこめて」患者様に奉仕することです。

「心をこめて」とは患者様のためになる事を自発的に行う事であり、必ずしも患者様の求める事をそのまま行う事ではありません。例えば、栄養状態の良くない患者様に専門の技術と知識を駆使し、その状態を改善しようと努力することもその一つです。患者様が早期に社会復帰するためにどのような貢献すべきかを考えて行動する気配りと誠意であると言えます。

医療法人永仁会の職員は「医療は人が人のために行う究極のサービス」であることを心に刻み、最新の知識と技術に心を込め医療のプラクティスとして患者様に奉仕して参ります。

栄養サポートチーム

当院におけるNSTの組織図

2002.2.15



臨床検査技師の役割

NSTの活動を理解して、
治療および指導のための
データを出すこと。

管理栄養士の役割

1. 栄養アセスメント
2. 安静時エネルギー消費量測定
3. 栄養必要量の算出
4. 食事摂取量の観察および
摂取栄養量の算出
5. 窒素バランスの算出
6. 栄養指導

	第1期(2002.2月～5月)	第2期(2002.6月～8月)	第3期(2002.9月～)
Super visor	院長 宮下英士	院長 宮下英士	院長 宮下英士
Chairman	石崎 允	石崎 允	石崎 允
Director	鈴木祥郎	鈴木祥郎	鈴木祥郎
Assistant director	松永智仁	松永智仁	松永智仁
Assistant director	管理部 齋藤英輝 消化器外来 上村敏恵 内視鏡室 今野かづ子 中材・手術室 中鉢有希子 2F病棟 中田久美 3F病棟 高橋明美 腎センター 阿部年子 臨床工学科 三谷 盛 臨床検査科 相澤昭子 薬剤科 佐々木淑恵 放射線科 守谷洋子 栄養管理科 鎌田由香 瀬戸由美	齋藤英輝 上村敏恵 今野かづ子 中鉢有希子 中田久美 高橋明美 阿部年子 三谷 盛 相澤昭子 佐々木淑恵 守谷洋子 鎌田由香 瀬戸由美	齋藤英輝 竹村美和 今野かづ子 中鉢有希子 佐々木由紀 山口恵子 阿部年子 三谷 盛 相澤昭子 佐々木淑恵 守谷洋子 鎌田由香 瀬戸由美
Member	管理部 坂本 浩 消化器外来 菅原真理 中材・手術室 2F病棟 鈴木さゆり 佐々木由紀 3F病棟 山口恵子 戸部佳織 腎センター 後藤智恵美 鶴谷優子 臨床工学科 薬剤科 佐々木秀晴 情報管理課 長谷奉宏 栄養管理科 高橋初恵 関内明日美 石垣英恵 早坂志麻 クリニック シダックス 菅野晴美	坂本 浩 高橋奈緒子 菅原真理 竹村美和 橋本瑞枝 鈴木さゆり 佐々木由紀 今野美紀 小山由美 山口恵子 戸部佳織 千葉聖子 遠藤真理 渡辺弘美 後藤智恵美 鶴谷優子 青沼喜久恵 及川一彦 佐々木秀晴 長谷奉宏 高橋初恵 関内明日美 千島優子 石垣英恵 早坂志麻 菅野晴美	坂本 浩 高橋奈緒子 上村敏恵 菅原真理 尾形明美 橋本瑞枝 只野良子 中田久美 鈴木さゆり 今野美紀 吉田由美 金子由紀 遠 幸枝 高橋明美 千葉聖子 遠藤真理 渡辺弘美 石川奈津江 青沼喜久恵 後藤智恵美 鶴谷優子 山田 正 及川一彦 佐々木秀晴 長谷奉宏 畑あゆみ 高橋初恵 関内明日美 千島優子 石垣英恵 早坂志麻 高橋 文 佐々木京子 菅野晴美

褥創対策チームの活動

当院では、NST活動の一環として褥創対策チームを6月より立ち上げ、活動してきました。構成メンバーは、専門担当医師1名、看護師14名、事務職員1名より構成されています。活動内容としては、当院に入院される全ての入院患者様を対象に褥創に関する危険因子を評価し、日常生活自立度の低い入院患者様に対しては、更に診療計画書を作成し、患者様個人に合わせた褥創治療・看護を提供出来る様な体制となっております。チームミーティングも月に2回行ない、症例の報告・検討、他運営していく上での問題点、改善策等を討議し推進に努めています。また、院内・院外の研修会にも積極的に参加し、常に褥創に関するタイムリーな情報の収集に努め、患者様に対して責任ある治療・看護が提供出来る様関わっていきたいと思います。褥創対策チームの活動が、患者様にとって快適な入院生活を送って頂だける一つの関わりとなればと思います。(高橋 明美)

院内感染対策委員会の役割について

院内感染対策委員会は、毎月定期的に会合を開いております。委員会の目的は、運営規則により以下のようになっています。

具体的な役割

- (1) 職員教育;スタンダード・プリコーションの周知徹底が特に重要
- (2) 手指消毒法の徹底
- (3) 病院環境の清掃方法・回数のマニュアル作成
- (4) 患者用リネン類・職員ユニフォームなどの清潔維持の監視
- (5) 院内感染サーベイランスの企画・実施
- (6) 抗生物質の適切な使用の指導・監視
- (7) 針刺し事故対策;事故予防対策、医療事故時の処置
- (8) 給食管理マニュアルの作成
- (9) 医療廃棄物の消毒・滅菌法および搬送・廃棄方法マニュアルの作成
- (10) MRSA陽性患者への対処法;

永仁会病院MRSA対策マニュアルに準拠する

実際は、職員教育・手指消毒法の徹底・針刺し事故対策などです。特に、手を肩から上に挙げた時は、手洗いをするようにお願いします。(千田 宏)

(千田 宏)



TOPICS



ようこそアンドレアさん

八月九日から今年二月一日までワキタで臨床栄養管理士として勤務しています。宮城県仙台市に在住し、現在は宮城県立保健福祉大学にて臨床栄養学を専攻しています。卒業後は、仙台市立保健福祉大学にて臨床栄養学を専攻し、現在は仙台市立保健福祉大学にて臨床栄養学を専攻しています。臨床栄養学は、人間の健康を維持するために重要な役割を果たしています。特に、高齢者の栄養状態の改善や、病後の栄養サポートが重要な課題となっています。臨床現場では、患者様の個別の栄養状態を把握し、適切な栄養指導を行うことが求められています。今後も、最新の栄養学知識を習得し、患者様の健康に貢献していきたいと考えています。

運動会に参加して

七月七日土曜日、あいにくの天候でしたが、古川市医師会合同運動会が開催されました。院長先生をはじめ、多くの皆様に声援をいただき、多くの選手が健闘をみせました。私も、今年の大健闘を達成し、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、皆様のご支援をいただき、さらなる発展を目指してまいります。

佐々木詩乃

永仁会病院ホームページ <http://www.eijinkai-hp.or.jp/> (近日公開)

お問合せはこちらまで・・・Tel:0229-22-0063 Fax:0229-24-1420

編集後記

「永仁会だより」第2号 発行について

医療法人 永仁会 永仁会病院 広報課 編集後記
 本年は、永仁会病院の創立50周年を迎えるという節目の年です。この機会に、永仁会病院の歴史や現状について、多くの方々に知っていただくことを目指しています。本誌は、永仁会病院の活動や患者様の声、スタッフの取り組みなどを紹介する場として、今後も積極的に発行してまいります。皆様のご意見やご要望をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(石崎)